

韓国語敬語の経年変化に関する文献的一次調査

— 韓国現代文学作品のなかの敬語使用実態調査 —

白鳥文子* 金相均**

The primary textual research on long-term change in the Korean honorifics

— Actual use research on honorifics within Korean modern literature —

Fumiko, Shiratori Sanggyun, Kim

本研究は韓国語敬語法の経年変化に光をあてている。東アジアの言語習得を完成度の高いものにするには、敬語の使い方を磨くしかない。ところが既存の規範は実態に追いついていないことを実感するときがある。そこで今現在の敬語は既存の規範とどれだけ変化しているのか実際に調査した。韓国語における敬語の経年的変化を実証するための現代韓国語の敬語使用の実態調査である。

コトバは生き物であり、時とともに変化をする。古語と現代語が存在していることから明らかである。本研究の関心事は、そのような膨大な年月を経た変化にあるのではなく、第二次世界大戦以後の狭義の現代語においてどのような経年変化がみられるか、という点にある。日本と同様、韓国においても戦後の経済発展、それに伴う都市化、国際化により暮らしの伝統様式、人間関係、社会構造、価値体系にも変化が生じている。社会因子が変わるのであればそれと表裏一体の敬語使用にも変化が見られるはずである。このような仮説のもとに、現代韓国語の敬語使用実態の文献的一次調査を実施した。

データ獲得の手段として、韓国の代表的な現代文学作品（小説）1点を取りあげた。選定にあたっては対象文献の代表性という点に留意した。作品の全ページに表れる会話文の全数調査とし、会話文全数の記述（一次データ）と媒介変数割り振り及び情報づけをしたうえで、度数・度数分布表・ヒストグラム・分布範囲などの分布特性を観察し、分析した。

キーワード：敬語・敬語体系・経年変化・社会因子・社会構造・媒介変数

This paper focuses on long-term change in the Korean honorifics. Change in the honorifics reflects social change for the reason that language is closely connected with culture, in particular, social values and social mentalities. We are keenly interested in changes in modern Korean honorifics. We therefore proceeded to the primary textual research on long-term change in the Korean honorifics based on the assumption that the social and economic change such as the rapid industrialization, urbanization, globalization, socialization-of-women affect the Korean honorific system.

To achieve the goal, we put the emphasis on the actual use research on honorifics within Korean modern literature. The method to acquire the primary data is “Complete Survey” of all the dialogues described in one representative of modern Korean literature that was awarded by the Ye Sang Literary Award 2008. The acquired primary data was identified and classified into the 9 types based on the related parameters. Then we proceeded to the frequency tabulations in order to obtain the analytical findings based on the frequency, relative frequency, or percent frequency distribution.

Key words：honorifics / honorification system / long-term change / social factor / social structure / parameter

* 沖縄大学地域研究所特別研究員 422-8021 静岡市駿河区小鹿1582-8 fmk@plala.to

**静岡県立大学国際関係学部 410-2223 静岡県伊豆の国市北江間21-4 kaneai1227@yahoo.co.jp

1. はじめに

言語は文化の乗り物だと言われる。一つの言語社会に特有な語や表現は、その社会を形成している人間たちに特有な“ココロ”の表出である。裏返せば、ある社会で使用されている語や表現、慣用句などの特徴を把握することによって、その言語を使用している集団に特有な心理、思惟などを知ることができる。なかでも、敬語体系ほど文化という社会因子 (social factors) を鮮明に反映させているものはない。

敬語とは「話し手・聞き手・素材の (素材間も含む) 尊卑・優劣・利害・親疎の関係に応じて変化する言語形式」⁽¹⁾ である。日韓のように儒教的タテ型社会で発達した敬語の難しさは、ひとえに話し手、聞き手、素材 (素材間) の人間関係を瞬時に判断して、それに即した敬語を使い分けなければならないことにある。外国語として学ぶ場合にはなおさらである。

日本語教育では初めから丁寧体⁽²⁾で教えていく。親しい間柄で用いられる普通体が導入されるのは初級Ⅰの後半であり、授受表現の敬語体である「(Nを)(V) いただきます/ さしあげます/ くださいます」を除けば、敬語の導入は初級Ⅱの最終課あたりになる。一方、韓国語テキストでは最初から敬語が登場する。敬語の背景にある社会因子が日韓で異なるからである。

日韓両言語は文法的特徴に類似点が多い。日本語と朝鮮語⁽³⁾が同系にあたるかどうかは、系統論の分野でさまざまな試論⁽⁴⁾が行われてきたが、同祖論にせよ、重層論にせよ、言語の形態的特徴や統辞的特徴の類似性が必ずしも同系であることの証明とはならない。日本語と琉球語のごとく、類似した語形間に明確な音韻対応があってはじめて同系とする論拠となる。したがって、語形間に明確な音韻対応がみられない日本語と朝鮮語は同系とはみなされていない。

ところで、言語も習慣のひとつである。習慣を変えることは非常に難しい。そういう意味ではいかなる言語学習も困難を伴わないものはないといっている。しかし、通常学んでいる言語が難しいと嘆くのは、学習者の母語と習得しようとしている言語との隔たりがあ

まりに大きいからであり、その言語が他と比べようもなく絶対的に難しいというわけではない。したがって、同じ漢字圏に属する中国人や韓国人にとっての日本語は、欧米人のそれと比べて、学習しやすい言語ということになる。日韓の場合はすでに述べたように、形態論的にも統辞的にも類似性がみられるから、なじみ易さは他の比ではない。

したがって、日韓の場合、わずかな相違点さえ明確に把握できれば、いずれかを母語とする者がもう一方の言語を効率よく習得することができる。

本研究では韓国語敬語法の経年変化に光をあてている。東アジアの言語習得を完成度の高いものにするには、敬語の使い方を磨くしかない。ところが既存の規範は実態に追いついていないことを実感するときがある。そこで今現在の敬語は既存の規範とどれだけ変化しているのか実際に調査することとした。

2. 研究目的

本研究は、韓国語における敬語の経年的変化を実証するための現代韓国語の敬語使用実態調査である。コトバは生き物であり、時とともに変化をする。古語と現代語が存在していることから明らかである。本研究の関心事は、そのような膨大な年月を経た変化にあるのではなく、第二次世界大戦以後の狭義の現代語においてどのような経年変化がみられるか、という点にある。日本と同様、韓国においても戦後の経済発展、それに伴う都市化、国際化により暮らしの伝統様式、人間関係、社会構造、価値体系にも変化が生じている。社会因子が変わるのであればそれと表裏一体の敬語使用にも変化が見られるはずである。このような仮説のもとに、現代韓国語の敬語使用実態の文献的一次調査を実施した。本調査は、問題点を浮き彫りにするための予備的一次調査という側面もある。

3. 研究方法

3.1 調査対象の選定

課題領域の先行研究の結果を十分検討したうえで、データ獲得の手段として、韓国の代表的な現代文学作品（小説）1点を取りあげた。小説としたのは、同様に文学の範疇に入る詩歌、随筆、評論、戯曲等は待遇表現の採集に不向きであるからである。対象文献の代表性という点に留意しなければならないが、本調査（一次調査）では純文学を審査対象とする「イサン（李箱）文学賞」の第32回（2008年）受賞作品7点のうち、会話文が多い1点を選読した。作品名は『사랑을 믿다』（仮訳：『愛を信じる』）、作者はグオンヨソン（권여선）である。

3.2 敬語の抽出枠

作品の全ページに表れる会話文の全数調査とし、敬語抽出枠は、話し手、聞き手、素材（素材間）に関連する事物、行為に対する尊敬語、謙讓語、恭遜語（丁寧語）とした。

3.3 一次データ

3.3.1 会話文全数の記述と媒介変数割り振り及び情報づけ

敬語を使用している会話文はもとより、敬語が使用されていない会話文も記述の対象として全会話文を記述した。敬語不使用の場合も、敬語を用いる必要のない場面や社会的人間関係を知るためには重要な資料となる。それぞれの会話文内にある敬語の一つ一つに、関与する媒介変数を割り振り、媒介変数に基づいた8類にグループ化し、さらに場面、素材に関する情報づけを行い、一次データとした。下で詳述するが、韓国語の敬語決定に関与する媒介変数としては、以下の4範疇8種を採用した。

- 1) 人間関係の媒介変数：1. 長幼 2. 上下 3. 性差 4. 親疎
- 2) 場面的媒介変数：5. 日常・非日常 6. 公私
- 3) 資質的媒介変数：7. 敬語使用者の文化度

- 4) 感情的媒介変数：8. 蔑視・敵視・怒り等

敬語を使用していない会話文には、（無）（関与する媒介変数の番号）を配当することとした。

3.4 敬語数計算・度数分布表・ヒストグラム・分布範囲他

続いて各々の頻度（度数）をもとに、度数分布表、ヒストグラムを作成し、分布範囲、単峰性と多峰性の別、離れ値等を中心に分布特性を観察した。再頻値、中央値、比率等は観察対象にはできない点为本調査の弱点である。というのは、後述の「9. 課題」で詳述したが、小説をデータ獲得対象にしているために、現代韓国語をまんべんなく拾い上げているとは限らないからである。すなわち、小説は登場人物間又は登場人物に関わる人間たちを「話し手、聞き手、素材」としているために、小説の性格により、拾い上げている韓国語にむらがでてしまうからである。

3.5 二次調査・三次調査

経年的変化を実証するためには、時点を変えたデータ収集が不可欠である。同賞は1977年に開始されており、本調査は2008年までの中間時点の1992年受賞作品をデータ獲得の対象とした二次調査、1977年の第一回受賞作品を対象とした三次調査を実施することを前提とし、一次、二次、三次調査の結果の差異と類似性を総合分析評価する。

4. データ獲得対象作品の概要

4.1 あらすじ

『사랑을 믿다』（仮訳：愛を信じる）は一組の男女の出会いとそれ以後を敘事的に描いている。ともに恋愛に失敗している二人だが、ともに語り合ったり、周りの人間たちの話を聞くうちに、これまで判然としなかった恋愛の失敗理由や愛の本質が徐々にわかってくる。平凡なテーマだが、登場人物の感情を最大限節制し、事件事実を淡々と敘事的に描き、読者に観察させる技

法に優れているとの評価を得た。

4.2 登場人物

登場人物は全体で8人で、主人公の女性、その男友だちはともに31歳、その他30代前半、30代後半、60代、70代の男女が、料理店に居合わせた客として、また主人公が立ち寄った親戚の家で出会った初対面の人間として登場する。

4.3 作者プロフィール

1965年慶北、安東生まれの43歳。ソウル大学の国文科及び東大学院を卒業後、仁荷大大学院国文学博士過程を修了。1996年長編小説『푸르른 틈새』（仮訳『青い隙間』）で第二回想像文学賞を受賞し、文壇の仲間入りを果たした。すでに述べたように、2008年短編小説『사랑을 믿다』（仮訳：『愛を信じる』）で第32回イサン（李箱）文学賞を受賞した。

5. 韓国語における敬語決定の媒介変数 (parameter)

確立されている韓国語敬語法規範から鑑み、敬語決定の媒介変数を以下のとおり定める。

- 1) 長幼
- 2) 上下
- 3) 性差
- 4) 親疎
- 5) 日常・非日常
- 6) 公私
- 7) 敬語使用者の文化度
- 8) 感情

敬語不使用になる場合が多いが、隔たりをつくるために故意に敬語を使う場合があるので注意を要する。

6. 韓国語敬語法の背景にある倫理

韓国語敬語決定に関与する媒介変数は日本語のそれとはほぼ同じであるが、韓国語の場合、日本語にある

「ウチ (outsider) ・ソト (insider)」というパラメーターがない。韓国社会が尊重する基本的徳目は儒教の「三綱五倫」である。「三綱」とは君臣・父子・夫婦の踏み行うべき道、「五倫」とは、人の守るべき五つの道、すなわち「父子の親」「君臣の義」「夫婦の別」「長幼の序」「朋友の信」をいう。朝鮮半島では中世から近代にかけて非常に重視されてきた倫理である。現在でもその影響は依然として強く、同じく儒教の影響を受けた日本と比べたらはるかに濃厚で、韓国人にとって最も根源的かつ普遍的、伝統的な徳目である。これを基盤としてすべての人間関係は権力、血縁、年齢、性別等により序列的に仕分けられ、家庭生活は言うに及ばず、すべての社会生活に到るまで、自己の属する身分や地位に見合った言語行動をする必要があった。かつては家系図をもとに身内の序列を決定して行動するような時代もあったという。そのため現代社会にあっても、韓国ではしばしば学歴や職業、職種、社会的地位、年齢を推し量って行動しようとする。したがって韓国社会は序列意識の強い完全なタテ型社会と言える。

7. 一次データ

(別添)

8. 結果

8.1 会話文総数敬語数計算・度数分布・ヒストグラム

1) 会話文総数106箇所の内訳 (表1)

居合わせた客同士	24
訪問先で会った初対面の人	26
母娘関係	1
友人関係	52
独白	3
合計	106

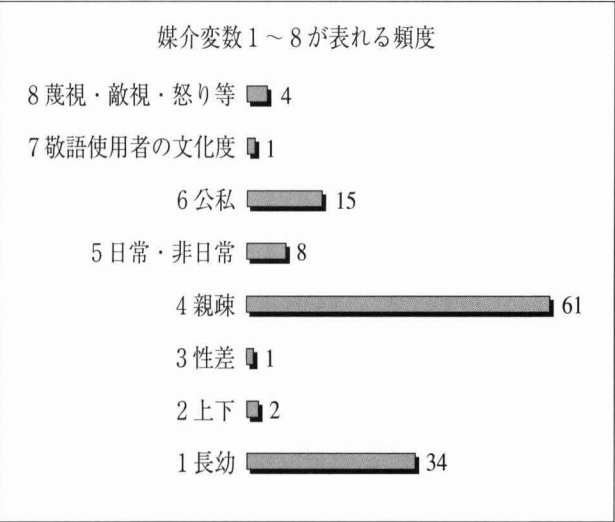
2) 敬語使用部分総数126箇所 の、媒介変数に基づく8類のグループと度数 (表2)

媒介変数	度 数
1 長幼	34
2 上下	2
3 性差	1
4 親疎	61
5 日常・非日常	8
6 公私	15
7 敬語使用者の文化度	1
8 蔑視・敵視・怒り等	4
合計	126

3) 敬語不使用部分総数74箇所に関与する媒介変数と度数（表3）

敬語不使用 媒介変数 4 親疎	58
敬語不使用 媒介変数 1 長幼	11
敬語不使用 媒介変数 8 蔑視・敵視・怒り等	4
敬語不使用 媒介変数 3 性差	1
合計	74

4) 度数分布（表4）



8.2 分布特性（分布範囲、単峰性と多峰性の別、離れ値）
表1、2、4より次のことがわかる。

- 1) 分布範囲：8類の媒介変数のうち、すべてが表れた。
- 2) 単峰性と多峰性の別：媒介変数4の親疎、媒介変数1の長幼の度数が際だって多い。

- 3) 最頻値：媒介変数4の親疎
 - 4) 媒介変数3の性差が関与する敬語使用はわずか1箇所、価値観の変化と相関している可能性もある。
- 表4に示したように、敬語不使用箇所の人間関係は以下ようになっていた。
- 1) 女性から男性に対する会話
親しくなると消えやすく、他の儒教的序列意識より縛りが弱いと言えるのかもしれないが、本調査内容からだけでは断定できない。
 - 2) 年齢が上の者（長）から下の者（幼）に対する会話
 - 3) 不満や怒りなどで敬語が消えている。

9. 課題

敬語の経年変化を明らかにするため、時点を変えた文献を用いて敬語使用実態調査をし、差異、類似点を分析評価する方法を考えたが、今回の予備的一次調査で、調査対象の文献の内容・性格からの影響を強く受けることがわかった。今回のように小説を対象とした場合、主人公と深く関係する人間との会話文が多くなり、加えて登場人物の数にも影響される。関与する現代韓国語の敬語がまんべんなく拾い上げられているという保障がない限り、調査結果は不確実性を残す。データ獲得の対象を小説としたことを根本から見直さなければならぬかもしれない。経年変化であるから一定期間をおいた異なる時点でデータを獲得していく必要があるが、文献を対象とした場合、過去に遡った資料を簡単に獲得できる利点はあっても、以上のような問題点を払拭するには、より適切な文献を選定する方法を考えていくか、世代間の敬語使用実態を調査する、もしくは個人24時間敬語使用調査を10年後、20年後と未来に向かって時点を変えて行う方法などをとる必要があるかもしれない。

10. まとめ

本調査の弱点はすでに述べたとおりであるが、頻度の差こそあれ、どの媒介変数も関与していることがわかった。したがって伝統的な価値観は機能しているといえよう。一方、韓国語敬語法の伝統的な規範にはずれたしているのではないと思われるのが、男女間の序列意識、すなわち性差という媒介変数の機能である。産業化・都市化・国際化・女性の社会進出等の社会変化と関わっているのかもしれないという仮説も立てられるのではないか。今回の調査は予備的一次調査という側面ももつ、と冒頭に記したとおり、問題点を改善し、後続の調査をしていくことで、この仮説を実証してみたい。

謝辞

本研究に要する文献を収集するにあたって、ソウル市在住のキムサンア（金相芽）氏に御協力をいただいた。とりわけ、イサン（李箱）文学賞受賞作品の迅速な御郵送に感謝の意を表します。

注

- (1) 辻村敏樹1958「待遇語法」『続日本文法講座1 文法各論編』明治書院
- (2) 例として、文末の「～です」「～ます」がある。
- (3) 系統論等で扱う学問的用語としては韓国語ではなく、朝鮮語とする。
- (4) Aston, W.G. 1874 “A Comparative Study of Japanese and Korean Language.” *Journal of the Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland*. New Series 9.
白鳥庫吉1898 「日本の古典と朝鮮語の比較」
大野晋1957 「日本語の起源」岩波書店、他

引用・参考文献

- イジョンボク（권이정복）1998「상대경어법」（仮訳：相手敬語法）『문법 연구와 자료』（仮訳：文法研究と資料）태학사（太学社）
- グオンヨソン（여선）2008『사랑을 믿다』（仮訳：愛を信じる）文学思想社。
- 国立国語研究所編 1980 『日本人の知識階層における話しことば

の実態』

- 国立国語研究所編 1995 「テレビ放送の語彙調査Ⅰ 方法・標本一覧・分析」『国立国語研究所報告112』
- ソジョンズ（서정수）1972「현대 국어의 대우법 연구」（仮訳：現代韓国語待遇法研究）『어학연구』（仮訳：『語学研究』）：2-8
- ソジョンズ（서정수）1984『존대법의연구』（仮訳：尊敬法の研究）한신문화사（仮訳：韓新文化社）
- 曹美庚 2003 『日本語と韓国語における敬語表現の比較』白帝社
- ソンギチョル（허성기철）1984「현대 국어 주체 대우 구」（仮訳：現代韓国語主体待遇研究）『한글』（仮訳：ハングル）184
- ソンギチョル（성기철）1970「국어 대우법 연구」（仮訳：韓国語待遇法研究）『충북대 논문집』（仮訳：忠北大論文集）：1-4
- 辻村敏樹編 1971『敬語史』大修館書店 伝康晴・田中ゆかり編
- 2006「方法」『社会言語科学講座6』ひつじ書房
- 中野洋 1998 「言語の統計」『岩波講座言語の科学9 言語情報処理』岩波書店
- ホウン（웅）1961「15C 국어의 존대법과 그 변천」（仮訳：韓国語の尊敬語とその編変遷）『한글』（仮訳：ハングル）：1-128
- 水谷静夫 1995『待遇表現論の提要』計量計画研究所
- 山崎久之 1995「国語の待遇表現体系とその歴史」『国語学21集』国立国語研究所

一次データ 会話文一覽と情報づけ

頁	行	会話文（韓国語原文の直訳）※日本語敬語規範に合わせた翻訳ではない。	媒介変数	話し手と聞き手	人間関係	話題の人
15	2	大丈夫？	無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	7	先週におば様のご逝去された。	1, 2, 4	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	主人公女性の伯母
	24	ゼコクと海鮮を半人前ずつ下さい。	6	主人公女性（31歳）→店員	客と店員	
16	2	半人前ずつ？何を、半人前ずつですか？	6	店員（外国人）→主人公女性（31歳）	客と店員	
	4	これとこれを半人前ずつ下さいな。	6	主人公女性（31歳）→店員	客と店員	
	11	私が勝手に頼んじゃったけど、いい？	無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	16~18	この店は申し分ないけど、従業員がよく変わるわね。 この店に来る時はいつも半人前ずつ頼むけど、事情が分からない従業員だと、 はじめから説明しなおさなければならぬから、何回も来ている意味が それでも注文する時の君の様子は手慣れたように見えるけどね。 そうね。言い争う時間が少しは短くなったような気がするけど。 ここにしょっちゅう来るの？ 高いからしゅっちゅうは来られないけど、たまにね。 あれから二年位経ったかな。 失恋した友達がいてね、そのおかげでこの店に来るようになったの。 失恋した友だち？ そう。 車を置いてきたから、少し飲もうか？ ビールと焼酎頼んだけど、どう？ ビールに焼酎を混ぜて飲もうよ。いい？ そう、その友達の相談にのってあげたの？ その友達？ああ。 私が相談にのろうと思っただけど、特に相談にのらなくても大丈夫だった なぜ？ それは十分に希望を持っている証拠ではない？ 希望？どんな希望？ 生きていることに愛着がある限り希望を持っていてということじゃないの？ 私はただその希望を密かに妨害する振りをしていればいいのよ。 そうすることで、希望を抱いていることを自ずと知るのよ。 いっすばい取りちらかかしておくと、空間の存在を認識するよなものよ。 あなたはあの時どうだったの？この時はどうすれば普通に呼吸をして 生きていられるの？ 私も友達の失恋より一年早く似た経験をしたのよ。 あ、そう？ あなたは今の瞬間もすべてを失てを失ったと思ってるでしょ。 過去をゆっくり振り替えて見ると何かが残っていることに気づくはずだ。 一体何が残っているというの？	無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	19		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	20		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	21		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	22		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
18	1		無	主人公女性（31歳）の独白		
	5		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	9		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	10		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
19	11		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	13		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	17		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	23		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	24		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
20	2		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	3		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	6		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	7		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	8~9		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
	13~14		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
21	8~9		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	12		無	主人公女性（31歳）→主人公男性（31歳）	友人関係	
	22		無	主人公男性（31歳）→主人公女性（31歳）	友人関係	
22	3		無	主人公女性（31歳）→女友達	友人関係	
	5		無	主人公女性（31歳）→女友達	友人関係	
	6		無	女友達→主人公女性（31歳）	友人関係	

	7	そうね。なんて説明したらいいのかなあ…… たいてい意味があるものではないかもしれないけど。	無	4	主人公女性 (31歳) → 女友達	友人関係	
	9	そんなものなんの關係があるっていうの？ かりにすごいものが残ったにしてもわたしにはもう關係ないわ。	無	4	女友達 → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	12	残っているのはどうでもいいことばかり、本当につまらないものだけよ。	無	4	女友達 → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	16~17	でもその意味がないように見えるものが、状況を変えていくのよ。	無	4	主人公女性 (31歳) → 女友達	友人関係	
	19	私がどうやってたら状況を覆せるというの？	無	4	女友達 → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	23~24	例えば親戚の家ににおつかいに行くとか、仕事仲間の慶事や弔事などを手 伝うとか、そんなことをしながらね。	無	4	主人公女性 (31歳) → 女友達	友人関係	
23	4~5	あなたが言うことがまがまがしくわからないわ。	無	4	女友達 → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
24	10	つまらないことを言うくらいなら、じっと座っていてくれた方がまだま	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	12	君はどうやって乗り越えたんだ？	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	20	私の場合は運が良かったのよ。	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	25	金銭的な問題で振られたって言うのかい？	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	4~5	今に必要はつきり分ったんだけど、金銭的な理由ではなかったの。 でも恋愛が息詰まった時は金銭的な問題がその理由だってつい考えてし まうのよね。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	10	ゆっくり飲んで。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	17	子供がいらないから。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	母娘関係	
	7~8	それが何だったのか未だに分からない。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	9	すごく重かったんだけど、まさかアメリカでハチミツのようなものを 買って来るとは思わないけど、何となくハチミツのような気がしていた	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	10	ハチミツのようなものだったとしたら、ジャムっていうこともあるかな	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	11	ジャム？60を超えた年寄りだちにジャムをプレゼントするなんて変じゃ	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	12	年寄りたちは甘いものが好きなんだよ。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	12	そう？じゃジャムにしておこう。	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
28	12	食べてみて、一度食べると忘れられない味だから。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	20	すごいね。	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
29	1	それで？その女性たちは誰だったの？	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	2	ちよっと待って、俺もおつまみ食べてからね。	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	3	あ、そうだね。早く食べよう。食べて話そう。	無	4	主人公女性 (31歳) → 主人公男性 (31歳)	友人関係	
	15	こっちにきて座りな。	無	4	主人公男性 (31歳) → 主人公女性 (31歳)	友人関係	
	20	クンゴモニム (伯母様) は今いらっしゃらないんでしょうか？	無	1	70代老女 → 主人公女性 (2年前の29歳)	初対面の人	
	24	クンゴモニム (伯母様) ということは、よく出入りする方か？	1, 5, 6	1, 5, 6	女性の伯母さんの家に来ているお婆さんのうちに 客の70代の老女に自分の伯母のことを聞いてい	初対面の人	
30	3~4	いいえ。たびたびは来る事ができなくしばらく来しました。 クンゴモニム (伯母様) はどこか行かれましたか？	無	1	60代女性 → 主人公女性	初対面の人	
	11	クンゴモニム (伯母様) がここに来られた後では初めてお目にかかるのです	1, 5, 6	1, 5, 6	主人公女性 → 60代女性	初対面の人	
	16	あなたはクンゴモニム (伯母様) がここについて来たのか知っている	無	1	20代の女性 → 客全員	初対面の人	
	17	たいいてい一年位になったと分かっています。	無	1	60代女性 → 主人公女性	初対面の人	
	18	以前はどこに住んでいらっしゃったの？	1, 5, 6	1, 5, 6	主人公女性 → 60代女性	初対面の人	
	19	ソウル永谷洞 (フアゴクドン) の方に住んでいらっしゃってました。	無	1	60代女性 → 主人公女性	初対面の人	主人公女性の伯母
	22	そう。永谷洞の方に住んでいらっしゃった時もよく出入りしたの？	無	1	主人公女性 → 60代女性	初対面の人	主人公女性の伯母
			無	1	60代女性 → 主人公女性	初対面の人	

24	いいえ。しょっちゅうお目にかかる事ができなくて、一年に一、二回	1, 5, 6	主人公女性→60代女性	初対面の人
31	一年に一、二回だったから多い方じゃないの？	無	1 60代女性→主人公女性	初対面の人
4	多いとは言えないよ。	無	1 70代老女の独白	客同士
7	そう。あなたはどんな用事で来て下さったの？	1, 6, 7	30代後半の女性→主人公女性	初対面の人
10	ほら、初対面の方にそんなことを聞くのは失礼じゃないの？	無	4 70代老女→30代後半の女性	客同士
19	私は、おばあさん、名前から男だと思ってました。	1, 4	30代後半の女性→70代老女	客同士
21	女だよ女。	無	1 70代老女の独白	客同士
22	かえって女性のほうが都合がいい。	1	60代女性の独白	客同士
32	私はこれをクンゴモニム（伯母さん）にお渡しできればそれでいいの	1, 6	主人公女性→客全員	初対面の人
9	何言ってるんだい？ここまで来たらお目にかかっていかなくては。	無	1 70代老女→主人公女性	初対面の人
10	お客様たちもたくさんいらっやっっているし。。。	1, 6	主人公女性→客全員	初対面の人
12	せっかく日を決めてお会いしにいらしたのでから、ゆっくり待ちなさい。	無	1 70代老女→主人公女性	初対面の人
13	そんなに急がなくていいだろう？			
14	クンゴモニムが（伯母様）どんなにさびしがることか？	5	70代老女→主人公女性	初対面の人
14	もしかしたら、クンゴモニム（伯母様をもっと丁寧に言う）が素敵な	5	70代老女→主人公女性	初対面の人
33	贈り物をくださるかもしれないし。	無	4 70代老女→30代後半女性	客同士
6	赤ちゃんママ（子供のいる女性）は家でなにかあったの？	1, 4, 5	30代後半女性→70代老女	客同士
8	私は本当に死んでもここには来ないようにしてましたよ。	無	4 60代女性→30代後半女性	客同士
11	なのに、どうして来たの？			
13~14	私の長兄様のお話によればそんなに人が生きながら、そんなにカリカリ	2	30代後半女性→60代女性	客同士 話し手の親族
15	するんじゃないとおっしゃったんです。			
15	そのとおり！宋谷洞（ファゴクドン）で住んでいらっしやる方だね。	1	70代老女→30代後半女性	客同士 第三者
16~18	はい。そうです。私の長兄様は学校で子供を教える先生様です。でも学校の先生様たちも、良いことはすべきだし、みんないろいろ調べていらっ	1	30代後半女性→70代老女	客同士 第三者
19	そうなんだよ。	無	4 60代女性	客同士
34	赤ちゃんは何人？	無	1 60代女性→30代後半女性	客同士
17	一人です	1	30代後半女性→60代女性	客同士
18	一人？男だよね。	無	1 70代老女→30代後半	客同士
20	はい。小学校三年生です。	1	30代後半女性→70代老女	客同士
21	私の孫より1年上だね。	無	1 60代女性→30代後半女性	客同士
35	遅いね。まったく。	無	8 70代老女	
12	先に来たお客さんが長くかかっているようですね。	1	60代女性→70代老女	客同士
13	それぞれ事情は多そうですね。	1	30代後半女性→70代老女	客同士
15	のどがカラカラだね。	無	8 70代老女の不満	客同士
16	自動販売機でも一つ置いとけばいいのに。	無	8 60代女性の不満	客同士
17	そうですよね。	1	30代後半女性のあいづち	客同士
36	4 皆さんを見ると、何か見てもらいにいらっしやっただようだね。	無	8 60代クンゴモブ（主人公女性の伯父）→皆	初対面の人

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--